

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		雨水流出抑制対策設置工事				整理番号	559	枝番号			
担当部課名 都市整備部建設課		コード	221007	連絡先電話番号	3425	昨年度整理番号	573				
係名 設計係		上位施策名				No					
予算事業名 道路の路面改良		コード	58150	水害対策の推進		10					
事務事業の概要	事業開始年度 ○昭和 ●平成		3年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等								
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区雨水流出要請対策要綱								
	道路の路面改良工事を施工する道路・水害を受ける地域		(2)								
	道路の路面改良工事を施工する道路・水害を受ける地域		(3)								
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 道路の路面改良工事の際に、雨水を地下に浸透させる施設である浸透柵・浸透地下埋管を設置する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 雨水を地下に浸透させることにより、河川への流入量を抑制する。									
活動指標名(式)		成果指標名(式) ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標									
(1) 浸透柵設置箇所数		(1) 時間あたりの累積浸透量									
(2) 浸透地下埋管設置延長数		(2) 時間あたりの累積浸透量									
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
指標	活動指標(1)	① 箇所	95	120	計画	130	実績	143	130	748	19.1
	活動指標(2)	② m	58	84	計画	100	実績	96	100	538	17.8
	成果指標(1)	③ m ³ /h	67	84	計画	91	実績	100	91	524	19.1
	成果指標(2)	④ m ³ /h	38	55	計画	66	実績	63	66	355	17.7
総事業費・コスト把握	事業費		⑤ 千円	13,347	11,543	20,040	13,064	20,040	特記事項 <small>(指標、事業費等の変化の理由など)</small> 浸透量 浸透柵 0.7m ³ /h/箇所 浸透地下埋管 0.66m ³ /h/m 目標値 14年～19年度の累計とする		
	(内)委託費		⑥ 千円	13,347	11,543	20,040	13,064	20,040			
	職員数(常勤 非常勤)		⑦ 人	0.31	0.22	0.22	0.20	0.20			0.20
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	⑧ 千円	2,816	1,979	2,002	1,820	1,820			
		非常勤職員分	⑨ 千円	0	0	0	0	0			
	総事業費⑤+⑧+⑨		⑩ 千円	16,163	13,522	22,042	14,884	21,860			
	単位あたりコスト⑩÷①		⑪ 円	170,137	112,683	169,554	104,084	168,154			
	財源	受益者負担分		⑫ 千円							
		国・都等からの支出金		⑬ 千円							
		特定財源計⑫+⑬		⑭ 千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源⑩-⑭		⑮ 千円	16,163	13,522	22,042	14,884	21,860				
受益者負担比率⑫÷⑩		⑯ %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
16年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	110.0	活動指標(2)の16年度達成率%	96.0	16年度予算執行率%	65.2	路面改良工事で併せて施工しているため、施工条件(境界杭・電柱・汚水柵ますなどの構造物がある場合)により、設置不可能な場所がある			
前年度の改革案の取り組み状況(17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		総合治水対策の一環であり、又自然環境を守るためにも不可欠な事業のため、障害物を避けてできるだけ設置している。									

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	他の治水対策として環状七号線の地下調節地や、和田弥生下水幹線などの整備も進んでいるが、水害の発生する地域はいまだにある。総合治水の一環として、雨水の河川への流出を抑制する必要がある。また地下水の涵養や緑勢の回復にも役立っている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	水害が発生している
	今後の予測	総合治水の一環として、流域対策(雨水浸透施設設置)を時間当たり10mmを目標として積極的に推進する。また雨水循環による自然環境保全に効果があるため、事業を進めて行く必要がある。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 雨水の下水道管への流入量を浸透施設の設置により減らせる。地下水の涵養や緑勢の回復など環境保全に役立つ。
	(2) ①現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) ②成果向上のための方策	理由または具体的内容: 道路の路面改良事業と併せ、効率的な執行を行っている。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 区が管理する道路で行うため、受益者負担は、できない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 最小の経費で浸透施設を設置している。
協働等の現状	(5) ①協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容: 工事の効率を高めるため、専門の企業に委託する。
	②協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	③協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	
協働等のあるべき姿	(6) ①協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	②協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	今後の具体的な取り組み 工事の効率を高めるため、専門の企業に委託する。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入 総合治水の一環の事業である。浸透枺・地下埋管などの施設を、道路の路面改良事業と併せて設置しつづけることで、経費の削減と効率化が図れる。また、地下水の涵養や緑勢の回復にも役立つ。このことから、今後も同様に事業を進める必要がある。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 施工条件により、計画的に事業が進まないため、工法等を見直していく必要がある。
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 総合治水の一環として、今後とも事業を継続していく必要がある。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		水防応急対策			整理番号	566		枝番号		
担当部課名		都市整備部建設課		コード	221001		連絡先電話番号	3422		
係名		計画調整係			上位施策名			No		
予算事業名		水防対策		コード	59500		昨年度整理番号		580	
事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		40 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 水防法第3条(市町村の水防責任) (2) 東京都水防条例 (3) 杉並区地域防災計画						
事務事業の概要	区域全体(水害発生の恐れのある区域)の区民の生命及び財			事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか)						
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)			迅速かつ的確な水防活動を行うことにより、浸水の未然防止を図り、被害を最小限にする。						
	土のう手配及びポンプ排水作業などの水防活動									
活動指標名(式)		(1) 緊急水防作業委託回数			成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標			(1) 土のう積み個数		
		(2) 水防対策回数						(2) ポンプ排水回数		
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%	
					計画	実績				
指標	活動指標(1)		1	1			2			
	活動指標(2)		4	4			3			
	成果指標(1)		532	66			5,318			
	成果指標(2)		0	0			8			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	585	1,941	5,032	4,371	5,032	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 水害発生時の対策であり、計画・目標値ともに設定できない。コストについても水害規模により異なる。	
	(内)委託費		千円	49	965	4,500	3,842	4,500		
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.43	0.31	0.33	0.34	0.30		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	3,906	2,788	3,003	3,094	2,730		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	4,491	4,729	8,035	7,465	7,762		
	単位あたりコスト ÷		円	4,491,000	4,729,000		3,732,500			
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円						
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0		0
差引:一般財源 -		千円	4,491	4,729	8,035	7,465	7,762			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
16年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%		活動指標(2)の16年度達成率%		16年度予算執行率%		86.9		
		水害対策時の事業であり、計画設定できない。								
前年度の改革案の取り組み状況(17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		自分の生命と財産は自分で守るという意識を高めるため、広報紙により啓発を行っている。過去の浸水区域がわかるマップを作成し窓口で閲覧に供している。								

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	被害件数 S60 300件 元年 453件 H5 284件 H11 180件 H12 3件 H13 47件 H14 7件 H15 39件 H16 54件
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	都市型水害時、土のう手配、ポンプの設置等の対応を迅速に行ってほしいとの要望がある。
	今後の予測	現在工事中の環状7号線地下調節池(第二期事業)及び和田弥生下水道幹線が完成すれば、環七から下流の水害は軽減されるが、他の地域についての危険度はあまり変わらない。河川や下水道の設計計画を上回る、短時間の集中豪雨による被害が予想される。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:近年、集中豪雨による地下浸水などの被害が多くなっており、土のう積み・ポンプ排水による被害の軽減が必要となっている。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容:概に経費の削減をしてきており、これ以上は難しい。 理由または具体的内容:
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:受益者負担の考え方はない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:概に経費の削減をしてきており、これ以上は難しい。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	理由: 理由または具体的内容:土のう積み、ポンプ排水等の作業委託
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[事業協力] (具体的内容)	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み NPO・ボランティア団体への働きかけ

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 集中豪雨時には、土のう要請が区に一斉集中するため、水防配備体制の限られた人数だけでは、迅速な対応は難しい。このため区民が自衛できるように、土のうなどを事前に各家庭に貸し出しのお知らせを広報に掲載する。また、杉並区洪水ハザードマップを窓口閲覧、杉並区公式ホームページ及び便利帳への掲載により、区民の防災意識の高揚を図る。また、地下施設を有する建物を建築する場合には、浸水や内水に強い建物計画をお願いする。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 各家庭での土のう積みや保管を容易にするために、貸し出し土のうを小型化にする。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	建設局や下水道局と、被害の情報を検討し、協働して被害の発生を防ぐ。下水道局と共同して、被害の発生しそうな家屋に対して防災意識の高揚を図る。概に経費の削減を行っており、これ以上の削減は難しい。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		水防訓練				整理番号	567		枝番号				
担当部課名		都市整備部建設課		コード	221001		連絡先電話番号	3422		昨年度整理番号	581		
係名				計画調整係				上位施策名		No			
予算事業名				水防対策				コード	59500		水害対策の推進		10
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		40年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 水防法第3条(市町村の水防責任)						
	水防管理団体(区)と消防関係機関等				(2) 東京都水防条例								
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)				(3) 杉並区地域防災計画								
区と消防署、消防団、防災市民組織等と合同で水防演習を実施する。				事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか)									
活動指標名(式)				事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか)									
(1) 合同水防演習実施回数				消防関係機関等と合同で水防演習を行うことにより、水防技術の習得、研鑽及び水防意識等の高揚を図る。									
(2)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標									
(1) 参加人数総数													
(2)													
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%				
					計画	実績							
指標	活動指標(1)		1	1	1	1	1						
	活動指標(2)												
	成果指標(1)			380	377	380	380	295					
	成果指標(2)			0	0								
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,124	1,115	1,136	1,107	1,136	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)				
	(内)委託費		千円	641	630	650	630	650					
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.09	0.06	0.07	0.07	0.06					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	817	540	637	637	546					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 ++		千円	1,941	1,655	1,773	1,744	1,682					
	単位あたりコスト ÷		円	1,941,000	1,655,000	1,773,000	1,744,000	1,682,000					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0		
差引:一般財源 -		千円	1,941	1,655	1,773	1,744	1,682						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
16年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の16年度達成率%	100.0	活動指標(2)の16年度達成率%		16年度予算執行率%	97.4					
前年度の改革案の取り組み状況(17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			演習参加職員をローテーション化し、多くの職員が必ず参加出来るようにしている。										

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	地下室を備えた住宅や集合住宅が増え、集中豪雨による地下浸水の被害が増加している。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	水防演習に対する要望・苦情等はない。
	今後の予測	現在工事中の環状7号線地下調節池(第二期事業)及び和田弥生下水道幹線が完成すれば、環7から下流の水害は軽減されるが、他の地域についての危険度はあまり変わらない。河川や下水道の設計計画量を上回る、短時間の集中豪雨による被害が予想される。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:水害時に区だけでの活動には限界があるため、合同で水防演習を行い、消防関係機関等との連携や、水防対策の強化を図る必要がある。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容:概に経費の削減をしてきており、これ以上は難しい。 理由または具体的内容:
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:受益者負担の考えはない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:概に経費の削減をしてきており、これ以上は難しい。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)	理由または具体的内容:合同で水防演習を行い、水防技術の高揚を図っている。
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[その他](具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み:現状を継続する。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 演習参加者をローテーション化することにより、水防活動に対する職員の意識の高揚と技術の高揚を図る。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 演習内容については、よく検討し、消防関係機関等と協議・調整していく。
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 概に経費の削減を行っており、これ以上の削減は難しい。演習内容の工法をよく検討し、最近の様々な被害に対応していく。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		テレメーターシステム維持管理				整理番号	568		枝番号	
担当部課名 都市整備部建設課		コード	221001		連絡先電話番号	3422		昨年度整理番号	582	
係名 計画調整係					上位施策名				No	
予算事業名		水防対策		コード	59500		水害対策の推進		10	
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 40 年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等					
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 水防法第3条(市町村の水防責任)					
	区域全体(水害発生の恐れのある地域)の区民の生命及び財				(2) 東京都水防条例					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)				(3) 杉並区地域防災計画					
雨量・水位の観測装置等の計画的改修及び維持管理。防災、気象情報の収集。				事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか)						
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標						
(1) 保守点検回数				(1) 雨量・水位の観測装置及び気象情報を活用した水防体制の回数						
(2) 防災気象情報の収集日数				(2)						
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%	
					計画	実績				
指標	活動指標(1)		2	2	2	2	2			
	活動指標(2)		365	366	365	365	365			
	成果指標(1)		4	4						
	成果指標(2)		0	0						
総事業費・コスト把握	事業費		千円	11,545	7,790	8,160	7,723	93,172	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)委託費		千円	4,200	4,200	4,200	4,200	4,200		
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.79	0.56	0.60	0.61	0.54		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	7,176	5,037	5,460	5,551	4,914		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	18,721	12,827	13,620	13,274	98,086		
	単位あたりコスト ÷		円	9,360,500	6,413,500	6,810,000	6,637,000	49,043,000		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円						
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0		0
差引:一般財源 -		千円	18,721	12,827	13,620	13,274	98,086			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
16年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	100.0	活動指標(2)の16年度達成率%	100.0	16年度予算執行率%	94.6			
前年度の改革案の取り組み状況(17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		維持管理経費を見直し、経費設定を行った。17年度から水防情報システムの改修を行う。								

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	近年、集中豪雨による被害が多く、河川沿いの地域外でも被害が出るようになった。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	特にない。
	今後の予測	現在工事中の環状7号線地下調節池(第二期事業)及び和田弥生下水道幹線が完成すれば、環七か下流の水害は軽減されるが、他の地域についての危険度はあまり変わらない。河川や下水道の設計計画量を上回る、短時間の集中豪雨による被害が予想される。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:被害軽減のための迅速な水防活動を行うためには、正確な雨量・水位の観測値、精度の高い気象情報が必要である。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容:概に経費の削減をしてきており、これ以上は難しい。 理由または具体的内容:
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:受益者負担の考えはない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:概に経費の削減をしてきており、これ以上は難しい。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	理由: 理由または具体的内容:水防総合システムの各装置を正常に作動させるための保守点検委託
	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み:現状を継続する。

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 設置時期から経年化し、テレメーター装置の老朽による維持管理費がかかる。実施計画に基づき、テレメーター装置全体を改修することで、更なる維持管理経費の削減とシステムの効率的な運用を図る。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 テレメーターのシステム設計や機器の改修費用が高額なため、耐用年数に達した機器から順次改修していく。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	設備の老朽化に伴い警報局2局、雨量局2局、水位局3局の改修を行い、サーバーの維持管理も行う。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		雨水浸透施設設置工事への助成				整理番号	569		枝番号			
担当部課名 都市整備部建設課		コード	221004		連絡先電話番号	3424		昨年度整理番号	583			
係名 技術管理係		上位施策名						No				
予算事業名 雨水流出抑制対策工事助成		コード	59850		水害対策の推進				10			
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		6年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等									
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区雨水流出抑制対策推進要綱(昭和58年6月7日) (2) 杉並区雨水流出抑制施設設置指導要綱(平成9年3月15日) (3) 杉並区雨水浸透施設設置助成金交付要綱(平成6年3月15日)									
	敷地面積が1,000㎡未満で個人所有の住宅		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 総合治水対策・雨水循環による自然環境保全に効果的な雨水流出抑制対策の推進を図るため、雨水浸透ます等の設置者に対して40万円を限度に工事費の一部を助成する。		①浸水被害を軽減する。 ②地下水と湧水の涵養と緑勢の回復									
活動指標名(式)		成果指標名(式) ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標										
(1) 助成件数		(1) 雨水の1時間当りの浸透量(単年度)										
(2) 助成金額		(2) 雨水の1時間当りの浸透量(平成6年度からの累計)										
区分		単位	14年度実績		15年度実績		16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%	
指標	活動指標(1)	① 件	33		36		50		30	50	60.0	
	活動指標(2)	② 千円	11,240		12,032		18,000		10,431	18,000	58.0	
	成果指標(1)	③ m ³	261		306		350		257	350	73.4	
	成果指標(2)	④ m ³	3,065		3,371		3,721		3,628	3,978	77.6	
総事業費・コスト把握	事業費	⑤ 千円	11,702		124,443		18,486		10,870	18,679	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)委託費	⑥ 千円										
	職員数(常勤 非常勤)	⑦ 人	0.90	1.00	0.90	1.00	0.90	1.00	0.90	1.00		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	⑧ 千円	8,175		8,095		8,190		8,190		8,190
		非常勤職員分	⑨ 千円	2,935		2,759		2,880		2,880		2,880
	総事業費⑤+⑧+⑨	⑩ 千円	22,812		135,297		29,556		21,940	29,749		
	単位あたりコスト⑩÷①	⑪ 円	691,273		3,758,250		591,120		731,333	594,980		
	財源	受益者負担分	⑫ 千円									
		国・都等からの支出金	⑬ 千円									
		特定財源計⑫+⑬	⑭ 千円	0		0		0		0		0
差引:一般財源⑩-⑭		⑮ 千円	22,812		135,297		29,556		21,940	29,749		
受益者負担比率⑫÷⑩	⑯ %	0.0		0.0		0.0		0.0	0.0			
16年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	60.0		活動指標(2)の16年度達成率%	58.0		16年度予算執行率%	58.8			
前年度の改革案の取り組み状況(17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		浸透施設の設置は、同一規模の敷地であっても、敷地の形状や建築物の配置によって設置可能数量が異なる。そのため、敷地面積だけを根拠とした基準の作成は決して現実的とはいえない。そこで、窓口において、個々の建築計画に適用できる雨水対策について、協議を行いながら本事業を進めると共に改めて検証を重ねる。										

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	杉並区の雨水流出抑制目標対策量、472,200㎡(神田川・目黒川水系) 杉並区雨水流出対策推進要綱並びに抑制施設設置指導要綱による達成数量 168,219㎡ 雨水浸透施設設置工事助成による達成数量 3,628㎡(上記達成数量に含まれる)
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	①助成金の増額をして欲しい。
	今後の予測	近年、気象の変化等により日本各地で大雨による浸水被害が発生している。都市部においても、ヒートアイランド化等により集中豪雨が頻発しており、浸水被害が発生する危険性が增大している。このような状況のなか、水害の軽減を目的とする浸透施設の設置は重要な施策であり、さら
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 雨水の下水管への流入量を浸透施設の設置によって減らせる。(浸水被害の軽減) また、地下水の涵養や緑勢の回復に役立つ。
	(2) ①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容:
	②成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 本事業の目標である区内全体の対策数量を変更することなく、個々の建築計画に適応した対策の推進を図ることにより、対象者の協力が得やすくなる。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 本事業の受益者は助成対象者だけでなく、主に水害の恐れがある区民の不特定多数である。また、助成金受領者は浸透施設設置工事費の超過分を負担している。
協働等の現状	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 40万円を上限として標準工事費の約8割を助成しているが、施工は、実費との差額を自己負担しているため、コストを下げる余地はない。
	(5) ①協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由:
	②協働等の相手 企業・個人事業者(^)	理由または具体的内容: 総合治水対策の一環として、また、水害の軽減や自然環境の保全など、区民の安全と生活環境の向上に寄与することを目的とした、雨水浸透施設の設置者に対して助成を行う。
協働等のあるべき姿	③協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)	
	(6) ①協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	②協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)	今後の具体的な取り組み 水害の軽減や自然環境の保全など、区民の安全と生活環境の向上は行政の責務であるが、企業・個人事業者の協力がなくては到底成し得ない。そこで、現在進めている助成制度を今後も活用しながら雨水流出抑制対策の推進に努めるものである。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入 現在、進めている雨水流出の抑制対策は、浸透施設(浸透ます・浸透トレンチ)を主体に助成制度を活用しながら推進を図っている。そのなかで、区民の方々は、抑制対策について一定の理解を示すが、いざ自分の敷地への設置となると費用対効果が見えにくいと消極的になってしまう。そこで、設置費用負担の軽減化や雨水対策を身近なものと感じられる雨水の再利用方法などの研究・導入を目指し、区民の雨水対策への理解と協力をより一層深める。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 雨水の再利用で考えられる一つとして、貯留タンクが挙げられる。貯留タンクは、溜められた雨水を散水等に使用でき環境面での効果もある。しかし、浸水被害の軽減効果を考えると、タンク内を常時空の状態にすることが望ましく、貯留タンクが不向きな面もある。そのなかで、雨水対策の効果をあげるには、浸透・貯留施設の併用が望まれるが設置者の自己負担額の増大が予想される。克服方法として、助成金の増額が最も効果的であるが、浸透・貯留施設の技術的な検証及び市場の動向を調査	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 民間施設における雨水流出抑制対策を推進していくためには、区民及び事業者の雨水対策についての理解と協力が重要である。そのためには、雨水流出抑制対策の必要性について、積極的にPRを行うことである。そこで、従来から行われているPR方法を検証し、必要に応じ新たな工夫を行い積極的な呼びかけを行う。	

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名			雨水流出抑制対策(私道)				整理番号	596		枝番号		
担当部課名			都市整備部維持課		コード	221601		連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	612
係名			私道整備担当係長				上位施策名			No		
予算事業名			私道整備助成		コード	57850		水害対策の推進			10	
事務事業の概要	事業開始年度			○ 昭和 ● 平成		2 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区私道の整備に関する条例 (2) 杉並区私道の整備に関する条例施行規則 (3) 杉並区雨水流出抑制対策推進要綱						
	水害のおそれのある地域の住民			事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			雨水の浸透量を増やし、下水道への雨水流入を減らすことで河川の増水を抑制し、台風や集中豪雨時の水害を防止する。								
	交通量の少ない私道の舗装を透水性にすること。また、透水性舗装をして数年が経過し、透水能力の落ちた舗装に対して洗浄を行い透水能力の回復を図る。(平成16年度まで。)			事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)								
活動指標名(式)			成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標									
(1) 透水性舗装工事面積			(1) 雨水の地下への浸透量(施工による量)									
(2) 透水性舗装洗浄面積			(2) 雨水の地下への浸透量(洗浄による量)									
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値	目標値に対する16年度の達成率%			
					計画	実績						
指標	活動指標(1)		m ²	62	1,574	2,000	771	2,000				
	活動指標(2)		m ²	1,502	1,591	1,500	1,492	0				
	成果指標(1)		m ² /h	2	47	60	23	60				
	成果指標(2)		m ² /h	45	48	45	45					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,125	12,548	24,774	10,878	22,740	特記事項 <small>(指標、事業費等の変化の理由など)</small> 申請主義のため目標値は定めない。			
	(内)委託費		千円	1,125	12,548	24,774	10,878	22,740				
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.25	1.25	0.50	0.50	0.50				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	11,354	11,243	4,550	4,550	4,550				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	12,479	23,791	29,324	15,428	27,290				
	単位あたりコスト ÷		円	201,274	15,115	14,662	20,000	13,645				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0				0
差引:一般財源 -		千円	12,479	23,791	29,324	15,428	27,290					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
16年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	38.6	活動指標(2)の16年度達成率%	99.5	16年度予算執行率%	43.9	透水性舗装工事の希望箇所が少なく計画量に満たなかった。				
前年度の改革案の取り組み状況(17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		透水性舗装工事の施行面積の増加が図れなかったため、当面、17年度以降は洗浄にかかる費用を透水性舗装工事に充当し、重点的に整備を図っていく。										

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	当初、わずかであった透水性舗装の道路も年々増加してきている。近年、都市型水害は河川付近だけではなく区内の低地部にも被害をもたらしているため、事業に対する期待は大きい。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	雨水を地中に戻すことによる水害防止や地下水保護の意義の理解は進んでいるが、耐久性の面で通常の舗装に比べ劣るため、希望するところが少なくなっている。
	今後の予測	区内の不浸透面積は都市化により、ますます拡大されていくと思われる。そのために、透水性舗装の重要性が増していくと考えられる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: 都市型水害の防止のためには有効であるが、その成果が目に見えて現れにくい。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 単価等の共通化を土木部門全体で図り、工事にかかる経費の精査を実施済である。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容: 所有者が特定されているので見直し余地はあると考える。ただし、第3次行財政改革実施プランの策定の際、現状維持の方針が出されている。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容)	理由または具体的内容: 区の工事を、申請者の工事実施に移行する助成制度に改め、省力化を図ることで人件費の削減を行う余地がある。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当](具体的内容)	理由: 理由または具体的内容: 区が助成申請を受け、その可否を決定した工事等は、民間事業者が行う。
	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当](具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み: 現行の役割分担が望ましいと考える。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 私道整備において、私道所有者等の理解を得て、透水性舗装工事施工面積の増加を図る。また、透水性舗装洗浄委託は、平成16年度で休止とする。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	透水性舗装洗浄委託は平成16年度で休止とする。また、助成金方式による運用方法に改めることを検討する。